

ニーズ提供者の情報

組織名	三重県志摩市		
属性	☒ 地方自治体	☐ 地方独立行政法人	☐ 協同組合
	☐ 非営利法人	☐ 営利法人(企業)	☐ 国等機関の出先機関
	☐ その他()		

ニーズの概略

解決したい課題の分野	■水産（漁船漁業）	☐ 水産（養殖業）	☐ インフラ管理
	■洋上風力発電	■環境・海洋ごみ	☐ 観光・教育
	☐ 災害対策	☐ 離島物流	☐ その他 ()

何をしたいか	■画像・動画撮影	☐ 計測・診断	☐ 採捕・採取
	■モニタリング	☐ 運搬	☐ 清掃
	☐ その他 ()		

得たい効果	■業務効率化	■業務コスト低減	☐ 危険業務回避
	☐ 業務高度化	☐ 新規事業創出	■精度向上
	☐ 脱炭素等の環境対応	☐ その他 ()	

海の次世代モビリティを求める背景

＜藻場調査におけるニーズ＞

- 志摩市では磯焼けが拡大しているため、対策として核藻場の設置を検討している。現在、二か所で実験を実施しており、核藻場として有効であることが確認できれば、他の地域へも各藻場を展開したいと考えている。その際、水中ドローンを活用して現状の状況把握を容易にできるようにしたい。
- 志摩市では青のりについて取得したJブルークレジットの販売を行った事例がある。しかし、増加量を算定するために、藻場を定期的に観測したいというニーズがある。水中ドローンを使用して藻場の増加量を算出することで、30%程度の単価増が見込まれる場所もあると考えている。藻場が無い状態を水中ドローンを用いて撮影しておき、藻場造成の証明ができないかと考えている。

＜水産業におけるニーズ＞

- 令和2年から漁業者による食害生物(主にウニ)の駆除を行っている。駆除の集中地区を設定し、状況把握のためカメラ撮影によるモニタリングをしたいと考えている。これまで民間潜水士に依頼していたが、同じ場所の撮影を依頼しても撮影地点が一定でないことが問題であった。水中ドローンを使用することにより、指定した場所を確実に調査しウニの動きを精緻に把握できるようになることを期待している。

＜モニタリングのニーズ＞

- 海の次世代モビリティによる水質のモニタリングについて、費用を度外視すれば毎日データ収集できるのであれば魅力的である。一か月間の変化を観察することができれば、注意する必要がある時期が把握できるようになるため、導入は検討の余地がある。
- 水中ドローンで海域を撮影することで、洋上風力発電設備の設置場所の海中画像等のデータ収集や、漁礁ができた後の地域の状況を把握できるようになるとよい。